資料④

「TAITOフューチャースクール」の実現に向けた方向性（案）

TArget Innovation TO the Future School

ICT を学校教育の基盤的なツールとして活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるとともに、校務の効率化等により教員の働き方改革となる「新しい時代の学校」の実現を目指す。

【新しい時代の学びの姿】

○ 社会情勢の変化
- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

○「令和の日本型学校教育」の姿

学校の ICT 環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

○「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性
- 学習指導要領の着実な実施
- 学校における働き方改革の推進
- GIGA スクール構想、ICT の活用
- 少人数による指導体制の整備
- 9年間を見通した義務教育の在り方
- 地域社会や関係機関等との連携・協働
- 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応

【台東区学校教育ビジョン】

「まちを学びのキャンパスとし、世界に飛躍し未来を創造する人を育成する」

○ 育てたい人間像
- まちを愛し、人を愛し、他とのかかわりの中で自分を大切にする人
- 自分のよさや可能性を認識し、様々な社会的変化に対応できる人
- 新たな地域や社会を創造しようとする高いこころざしをもつ人

【ＴＡＩＴＯフューチャースクールのコンセプト】

「一人一人が学びの主役として活躍し、自分や世界を変革していく学びを実現する」

ＴＡＩＴＯフューチャースクールが大切にする〔３つのＩ〕

I	ICT	Inquiry
学びの主役は一人一人の子供 子供を導く一人一人の教師	個別最適な学びと協働的な学びを実現するための学習基盤としての ICT	子供（教師）同士の学び合いと多様な他者と協働した探究

ＴＡＩＴＯフューチャースクールの在り方（子供を中心とした方向性）

教育環境の整備・活用	ABW（Activity Based Working）に基づいた柔軟な学校施設の活用	デジタルとリアルが融合した教育活動の展開	従来の慣習や固定観念にとらわれない教職員の意識改革	教職員の資質・能力の向上
	クラウドツールを活用した非同期コミュニケーションの充実	全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現	生成 AI 等先端技術の有効活用	
	1人1台端末環境に対応した教室環境及び通信環境の整備	校務系と学習系を統合した次世代ネットワークの整備	授業動画や実践事例等の教育情報共有プラットフォームの充実	

空間的制約からの解放　心理的制約からの解放　時間的制約からの解放

台東区教育委員会による整備・運用